

☆ **登録・設置説明書** (黄色紙) を先にお読みください。

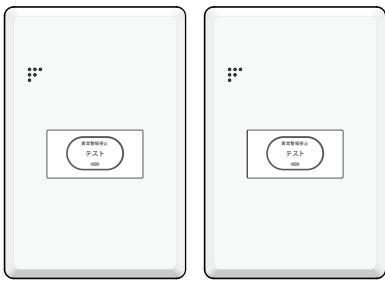
無線式 住宅用火災中継アダプタ

取扱説明書 **保証書付** **保管用**

〔適用機種〕
FSOJ002A-B
 ③本体の裏面および側面の銘板に記載しています。

無線式 住宅用火災警報器のグループ間を中継

電池式 (10年※タイプ)



※使用温度や電波環境などの外部環境や使用条件により、短くなることがあります。

このたびは、**NOHMI** 製品をお買い上げいただきありがとうございます。

- お取り付けは、黄色紙【登録・設置説明書】に従って、正しく設置してください。
- ご使用前に必ずこの【取扱説明書】をお読みいただき、大切に保管してください。

お客様ご相談窓口

0570-091-333 (受付時間: 24時間・365日)

一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。
ナビダイヤル。ただし、PHS・その他一部の電話機からはご利用いただけません。

保証書

型式 **FSOJ002A-B**

保証期間 お買い上げ日から1年間

お買い上げ日 年 月 日

お客様
 ご住所
 お名前
 電話
 販売店
 住所・番
 電話

見本

- 保証規定**
- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
 - 取扱説明書および登録・設置説明書に記載している注意に従った正常なご使用状態において、保証期間内に故障した場合は、無償交換させていただきます。
 (イ) 無償交換のご依頼は、お買い上げの販売店にお申しつけください。
 (ロ) お買い上げの販売店にご依頼できない場合には、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。
 (ハ) 本機は持込修理(交換)の対象商品です。郵送などで修理(交換)依頼された場合の送料などは、お客様の負担となります。
 - 保証期間内においても、次のような場合には有償とさせていただきます。
 (イ) 取扱上および使用上の誤りによる故障および損傷
 (ロ) 不当な改造や修理による故障および損傷
 (ハ) お買い上げ後の輸送、移動、衝撃、落下などによる故障および損傷
 (ニ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変および公害、塩害、ガス害や異常電波および電磁波などによる故障および損傷
 (ホ) 車両、船舶などに搭載して使用された場合に生じた故障および損傷
 (ヘ) 業務用など一般家庭用以外に使用されて生じた故障および損傷
 (ト) 油污れなどによる機器の機能劣化、故障および損傷
 (チ) 取付場所が不適切で、住戸環境による影響により電池が消耗した場合
 (リ) 本書のご提示がない場合
 (ヌ) 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 (ル) 出張サービスをご要望された場合の出張に要する費用
 - 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
 (This warranty is valid only in Japan.)
 - 本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

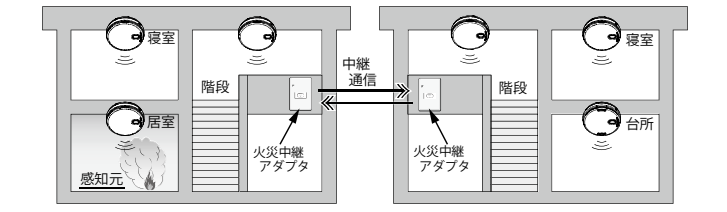
○お客様にご記入いただいた個人情報は保証期間内の無償交換対応のほかアフターサービスおよび各種サービスに関する連絡並びにお客様個人が特定されない形での統計上の目的のために使用させて頂く場合がございますのであらかじめご了承ください。

○保証期間経過後の補修用性能部品(専用リチウム電池など)の保有期間および購入については、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

NOHMI 能美防災株式会社
 本社 〒102-8277 東京都千代田区九段南4-7-3
 URL <https://www.nohmi.co.jp/>
NOHMI は、能美防災株式会社の登録商標です。

ご使用前に

- 本機は住宅用です。消防法に規定された以下の設備には使用できません。
 「自動火災報知設備」および「特定小規模施設用自動火災報知設備」
- 本機は電波法の「小電力セキュリティシステムの無線局」で定める技術基準適合品です。
- 本機を使用するには、設定および登録のほか、電波状態の確認が必要です。
 別添する黄色紙【登録・設置説明書】に従って、正しく設置してください。
- 連動可能な警報器は、無線式連動型住宅用火災警報器FSKJ226、FSLJ016シリーズなどです。
 単独型(非連動型)警報器、自動火災報知設備用感知器および他社製品との連動はできません。
- 本機(ペア品)は、無線式連動型住宅用火災警報器(以下、警報器)のグループ間を無線で中継する機器です。
 警報器が火災を感知したとき、2つのグループすべての警報器から火報警音が鳴動します。(本機からは、火災警報音を鳴動しません)
 ③ペア品をそれぞれ異なるグループの警報器(親器)へ登録する必要があります。
 設定などの詳細は、黄色紙【登録・設置説明書】を参照してください。
- ④ペア品はあらかじめ中継通信設定をしてあります。
 ペア品以外と組み合わせて使用することはできません。
- ④本機を3ペアを使用することで、最大4グループまで火災警報を連動できます。
 設定・設置に条件がありますので、「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。
- ④警報器(親器)に登録できる警報器(子器)の台数は、火災中継アダプタとあわせて15台までです。
- ④警報器については、警報器の「取扱説明書」を参照してください。

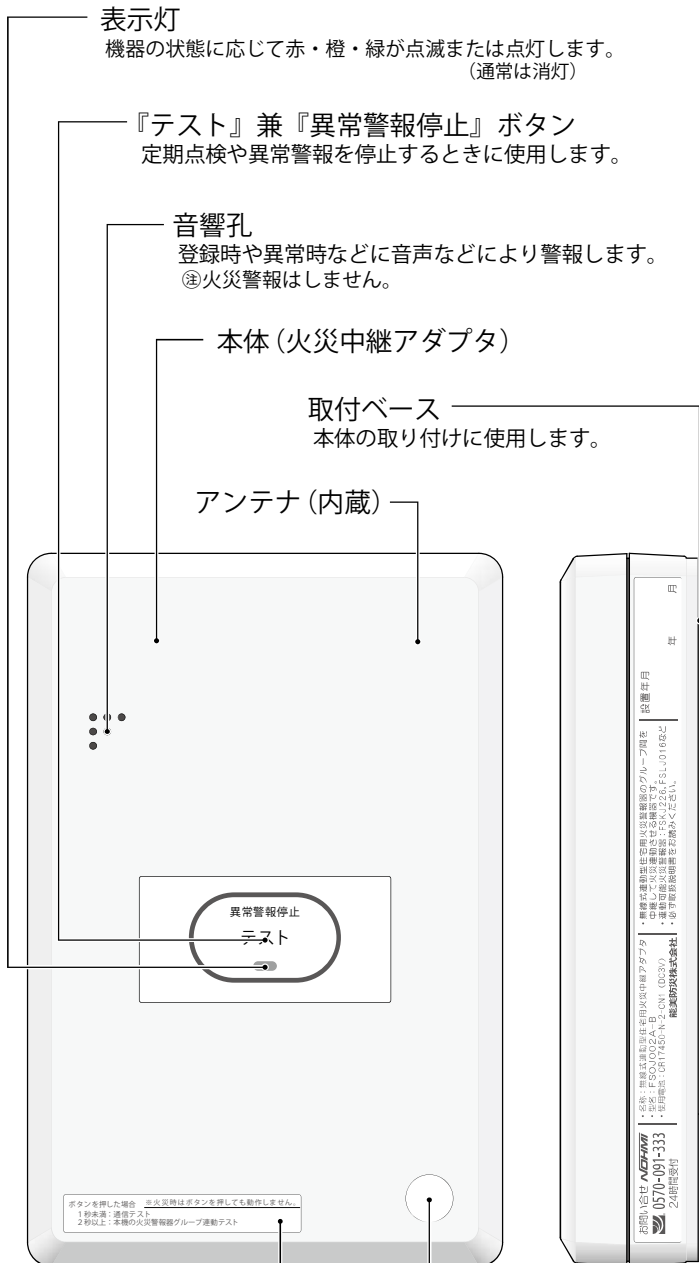


- 本機は、煙または熱を感知して警報する無線式連動型住宅用火災警報器に連動して、火災信号を中継する機器です。火災を感知したり防止する機器ではありません。火災などによる損害および本書に従わず設置された場合の事故や故障については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 商品を正しく安全にお使いいただくため、この【取扱説明書】にはさまざまな注意事項を記載しています。以下の注意表示をよく理解してから本文をお読みください。

警告	<p>取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が死亡または重傷を負うか、警報機能の一部に重大な悪影響を及ぼす可能性がある場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●分解・改造の禁止 本機は、電波法で定められた無線設備の技術基準適合品です。技適マーク(㊿)を貼付された商品は総務大臣の許可なしに改造して使用することはできません。 ③改造すると法律により罰せられることがあります。 ●落下などにより衝撃を与えた機器は使用しない。 針金などの異物を混入しない。 正常に火災信号を中継できないおそれがあります。 ●電池切れ・電波異常の機器は使用しない。 火災時に火災信号を中継できないおそれがあります。 ●取付ネジや専用リチウム電池の取り扱いは、乳幼児や子供の手の届かない場所で行う。 誤飲またはケガのおそれがあります。 ●高所の操作および作業は、安定した台に乗って行う。 転倒してケガをするおそれがあります。
注意	<p>取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が傷害を負うか、物的損害が発生する危険な状態が生じる可能性がある場合、または警報機能の一部に悪影響を及ぼす可能性がある場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ぬれた手で電池コネクタを接続しない。 感電するおそれがあります。 ●設定・設置条件を必ずまもる。 以下をまもらないと、火災連動できないおそれがあります。 ・2グループを連動させる場合は、「登録・設置説明書」に従って、設定および登録してください。 ・3グループまたは4グループを連動させる場合は、「お客様ご相談窓口」にお問い合わせのうえ、設定および登録、設置してください。 ・4グループを超える運用は行わないでください。 ●専用リチウム電池は必ず2組接続する。 専用リチウム電池を2組接続しないで運用した場合、電池寿命が短くなり、火災時に火災信号を中継できなくなります。 ●専用リチウム電池のコネクタは奥までしっかりと差し込み、確実に接続する。 コネクタ接続が不十分な場合、発熱や正常に動作しないおそれがあります。 ●専用リチウム電池を交換する場合は2組同時に行う。 新旧の電池を混在して使用すると、電位差(電圧差)により発熱または発火するおそれがあります。 ●本機や警報器の移設、家具などの移動後は必ず点検をする。 電波状態が変化し、火災時に火災信号を中継できない場合があります。

⚠ : 注意 ⚡ : 禁止 ! : 指示

1 各部の名称とはたらき



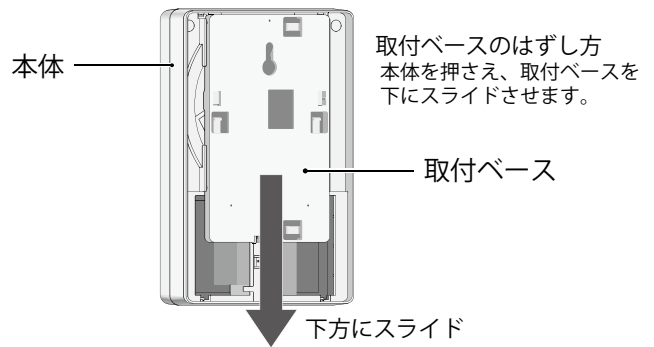
操作説明シール*
設置するときに貼り付けます。

登録番号表示シール*
登録時に貼り付けます。

*登録番号表示シール、操作説明シールは付属品です。
別添する黄色紙【登録・設置説明書】に従って、機器に貼り付けてください。

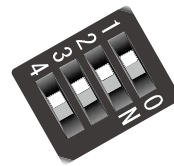
表. 警報の種類

警報項目	警報音 (音声)	表示灯
通常 (正常時)	——	——
警報器が火災警報したとき	感知元グループの火災中継アダプタ	[橙] 連続点滅
	中継先グループの火災中継アダプタ	[赤] 連続点滅
本機の電池切れ	ピポッ電池切れです (約30分周期) ピポッ (約1分周期)	[赤] 1+4回点滅 (ピポッに同期) (約1分ごと)
本機の電波異常	ピッピッ電波異常です (約30分周期) ピッピッ (約1分周期)	[橙] 2回点滅 (ピッピッに同期) (約1分ごと)



周波数設定用スイッチ

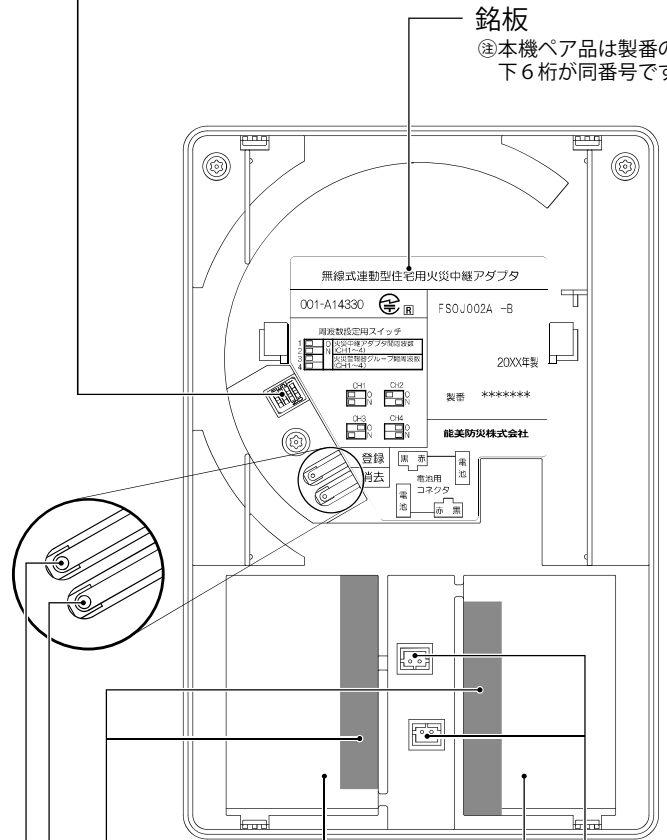
- 1, 2 スイッチ: 火災中継アダプタ間の周波数チャンネル (無線チャンネル) を設定します。
- 3, 4 スイッチ: グループ内警報器との周波数チャンネル (無線チャンネル) を設定します。



②出荷時は、共にCH1に設定 (図と同じ)

銘板

③本機ペア品は製番の下6桁が同番号です。



電池収納部
専用リチウム電池を収納します。

電池用コネクタ
(専用リチウム電池用)

電池押さえ
専用リチウム電池を押さえます。

消去ボタン
登録を消去するときに使用します。

登録ボタン
登録操作時に使用します。

④周波数設定、登録、消去などの設定および取付方法については、別添する黄色紙【登録・設置説明書】をごらんください。

2 各警報について

2.1 火災警報「ピーヒューヒュー 火事です 火事です」

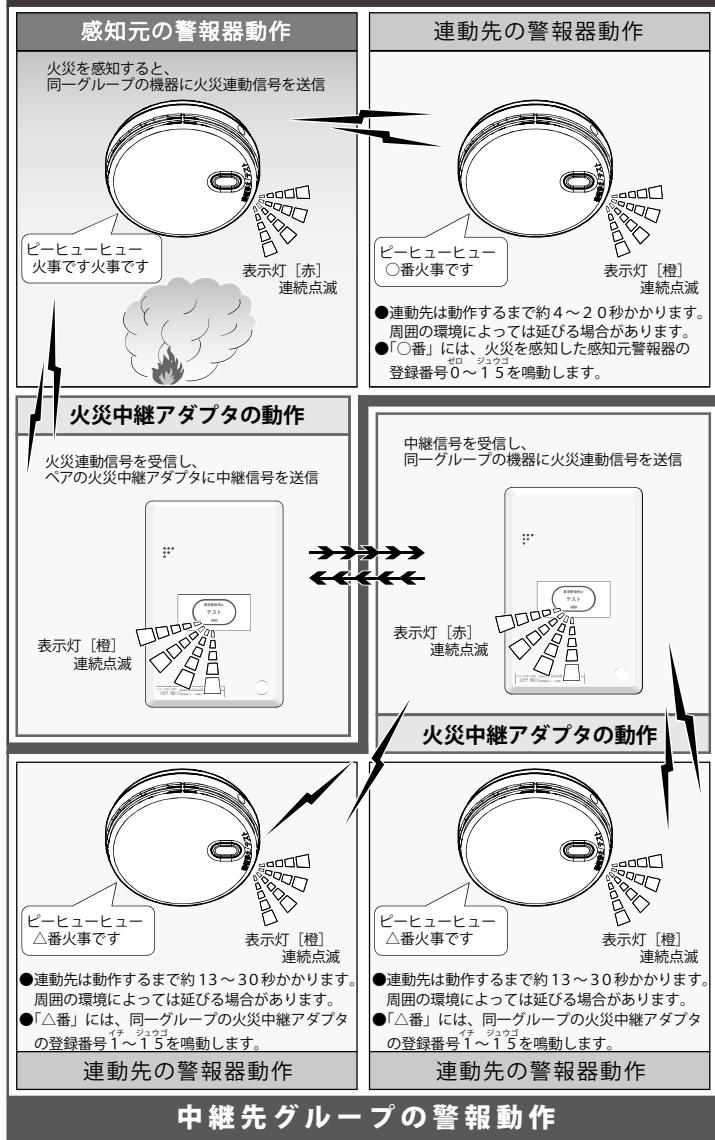
火災感知元グループの警報動作

- 感知元の警報器：感知元の火災警報を開始します。
- 上記以外の警報器：連動先の火災警報を開始します。
- 火災中継アダプタ：表示灯 [橙] の連続点滅を開始します。

中継先グループの警報動作

- すべての警報器：連動先の火災警報を開始します。
- 火災中継アダプタ：表示灯 [赤] の連続点滅を開始します。

火災感知元グループの警報動作



火災警報音が鳴動したとき

感知元の警報器が設置されている部屋を確認し、119番へ通報するなどの対処をしてください。

- 火災警報音を鳴動してから約 5 分後に、感知元の警報器が火災を感知なくなると、自動的にすべての警報器の火災警報音が停止します。

火災警報音を停止するには

- 警報器の『警報停止/テスト』ボタンを押してください。
- 火災中継アダプタで火災警報音を停止することはできません。

感知元の警報器で停止したとき

感知元の警報器を含む、連動しているすべての警報器の火災警報音が停止します。

感知元以外の警報器で停止したとき

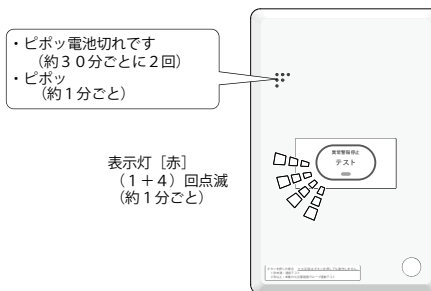
感知元の警報器を除く、連動しているすべての警報器の火災警報音が停止します。

- 連動先の警報器が火災警報音を停止するまで、約 4～30 秒かかります。(周囲環境によっては延びる場合があります。)
- 火災警報音を停止した後、感知元の警報器が火災を感知し続けている場合は、約 5 分後に、すべての警報器が再度火災警報音を鳴動します。
- 火災警報音を停止した後、感知元以外の警報器が新たに火災を感知した場合は、すべての警報器が再度火災警報音を鳴動します。

- 警報器の警報音停止については、警報器に付属する「取扱説明書」もあわせてお読みください。

2.2 電池切れ警報「ピポッ 電池切れです」

専用リチウム電池の電池電圧が低下して電池の寿命が近づくと、以下のような警報音と表示灯により、お知らせします。



電池切れが発生したら

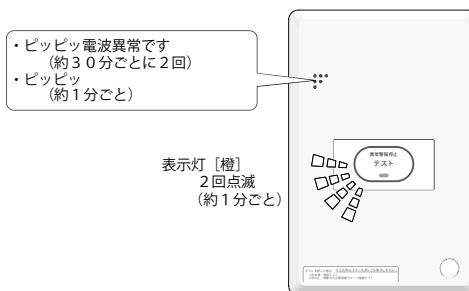
- 販売店にご相談のうえ、すみやかに新しい火災中継アダプタ (ペア品) の 2 台または電池と交換してください。
- 火災中継アダプタを交換する場合は、ペアとなっている 2 台 (本体裏面の銘板に記載してある、製番の下 6 桁が同じ番号の 2 台) とともに新しいペア品に交換してください。なお、交換する場合は、警報器 (親器) から登録を消去し、新しい火災中継アダプタを登録する必要があります。(黄色紙【登録・設置説明書】を参照してください。)
- 機器または電池を交換した場合は、正常に動作するか、テストを行ってください。テスト方法は、3.2 機能を確認する を参照してください。

電池切れ警報音を停止するには

- 『異常警報停止』ボタンを押すと音声で電池切れをお知らせし、約 2 4 時間警報音が停止します。
- 警報音停止中は、表示灯 [赤] が約 10 秒ごとに 1 回点滅します。
- 『異常警報停止』ボタンを押すことに音声で電池切れをお知らせし、最後の操作から約 2 4 時間警報音を停止します。

2.3 電波異常警報「ピッピッ 電波異常です」

登録した警報器 (親器)、およびペアの火災中継アダプタとの電波状態を定期的に自己診断し、電波状態に異常があった場合は、以下のような警報音と表示灯により、お知らせします。



電波異常が発生したら

- 3.2 機能を確認する の ① 通信テスト を参照し、電波異常警報中の火災中継アダプタをテストのうえ、(対処方法) に従って、対処してください。

電波異常警報音を停止するには

- 『異常警報停止』ボタンを押すと通信テストを行い、電波異常が継続している場合は、音声で電波異常をお知らせし、約 2 4 時間警報音が停止します。電波異常が回復している場合は、電波異常警報は終了します。
- 警報音停止中は、表示灯 [橙] が約 10 秒ごとに 2 回点滅します。
- 電波異常が継続中の場合は、『異常警報停止』ボタンを押すことに、通信テスト後、音声で電波異常をお知らせし、最後の操作から約 2 4 時間警報音を停止します。

<p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 電波異常のまま放置しない。火災時に連動できないおそれがあります。 ● 火災中継アダプタをはずしたままにしない。警報器が火災を感知しても火災信号を中継できなくなり、中継先グループで火災をお知らせすることができなくなります。また、警報停止信号も中継できなくなります。
<p>注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 火災中継アダプタは 10 年で交換 10 年を超えて使用すると、内部の電子部品の劣化により、正常に動作しなくなる場合があります。設置後 10 年経過後は、すみやかに新しい火災中継アダプタをペアで交換してください。また、警報器についても、設置後 10 年を経過している場合は、忘れずに交換してください。汚れなどの影響により火災を感知するが遅れる場合があります。 ● 複数の警報要因が発生している場合があります。同時に複数の警報要因が発生している場合は、優先順位の高い警報を行います。 <p style="text-align: center;"> 高い ① 火災中継動作 (表示灯の点滅) 優先順位 ↓ ② 電池切れ警報 低い ③ 電波異常警報 </p>

3 定期点検（お手入れとテスト）

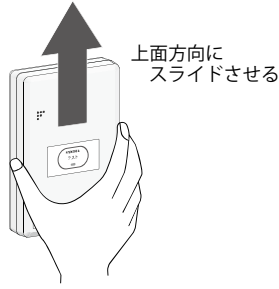
正常に動作することを確認するため、定期点検を必ず行ってください。

3.1 お手入れ（外観を確認する）

12ヶ月に1回程度、本機の掃除を行ってください。

①本体を取りはずす

本体部分を壁面に軽く押しつけながら、図示の方向にスライドさせます。（取付ベースは壁面に残してください。）



②お手入れをする

本体が汚れたら布を水または中性洗剤に浸し、十分に絞ってから拭き取ってください。



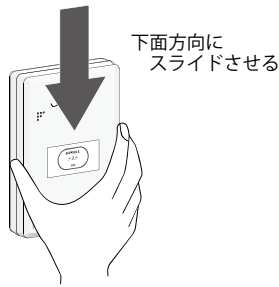
●『テスト』ボタンに触れないようにしてください。テストが起動し、警報器から火災警報音が鳴動する場合があります。

 分解禁止	分解の禁止 機器内部は精密に調整されていますので分解しないでください。正常に動作ができなくなるおそれがあります。
 禁止	●水洗いの禁止 内部に水が入らないよう気をつけてください。内部回路がショートして動作できなくなるおそれがあります。 ●薬品の使用禁止 ペンジン・シンナーやアルコールなどの化学薬品で拭き取らないでください。樹脂が変形したり劣化して割れることがあります。

③もとに戻す（お手入れ後）

お手入れ後は、本体をもとに戻して通信テストをしてください。

⇒ 3.2 機能を確認する 参照



- 本体表面が乾いてから取り付けてください。
- 電池のコネクタが奥まで確実に差し込まれていることを確認してください。
- 本体は、もとの場所に取り付けてください。（異なる場所に取り付けた場合、連動動作しないことがあります。）

3.2 機能を確認する

機能確認には、2つのテストがあります。

- ①通信テスト
 - （テスト内容）
 - ・テスト操作した火災中継アダプタの電池切れを確認
 - ・登録した警報器（親器）との通信を確認
 - ・ペアの火災中継アダプタとの通信を確認
 - ②グループ内連動テスト
 - （テスト内容）
 - ・テスト操作した火災中継アダプタが属するグループの火災連動動作を確認
- ③連動グループを3グループ以上（火災中継アダプタを2ペア以上使用）にしている場合、テスト操作した火災中継アダプタが属するグループ以外の警報器も、火災連動動作する場合があります。詳細は、②グループ内連動テスト 内△注意の2ペア以上使用している場合を参照してください。

④すべてのグループを一齐に火災連動動作させて確認するには、警報器の連動テストを行ってください。警報器の連動テスト方法は、警報器の「取扱説明書」を参照してください。

① 通信テスト （推奨点検頻度：1ヶ月に1回、または、3日以上留守にされたとき）

！ 操作は、音声が鳴り終わるのを待って、1台ずつ確実に行う。必ず守る 正常に確認ができないおそれがあります。

本機ペア品の各々について、以下の要領でテストしてください。テスト結果が正常以外の場合は**【対処方法】**に従って対処してください。

1. 『テスト』ボタンを短押しする。〔1秒未満〕

操作音が「ビビ」と鳴り、はじめに表示灯〔緑〕が点灯し、登録した警報器（親器）との通信テストを開始します。

しばらくすると表示灯が〔緑〕から〔橙〕に切り替わり、ペアの火災中継アダプタとの通信テストを開始します。

通信テストが終わると機器の状態により、下表のようにテスト結果を鳴動します。（電池切れの場合は通信テストせず、テスト結果を鳴動します。）（正常・電波異常の場合は、鳴動に約30秒かかります。）

- 電波異常のときは、通信ができない機器を番号で鳴動します。



テスト結果

機器の状態	警報音（音声）	表示灯	対処No.
正常	○番 正常です	〔橙〕連続点滅 (正常です の後、約5秒間)	—
電池切れ	○番、ビポッ電池切れです	〔赤〕1+4回点滅 (ビポッと同期)	1
電波異常	<警報器（親器）との電波異常> ○番 ビビビビ電波異常です、0番	〔赤・橙・緑のいずれか〕点灯 〔橙〕2回点滅後、0番 鳴動中	2
	<火災中継アダプタとの電波異常> ○番 ビビビビ電波異常です、002番	〔赤・橙・緑のいずれか〕点灯 〔橙〕2回点滅後、002番 鳴動中	3
	<上記両方の電波異常> ○番 ビビビビ電波異常です、0番、002番	〔赤・橙・緑のいずれか〕点灯 〔橙〕2回点滅後、0番 鳴動中	2
警報器（親器）に未登録	99、ビビビビ	消灯	4
通信処理中など	ビビビビ	消灯	5
故障など	無音	無灯	6

- 「○番」には、テストした本機の登録番号1～15が鳴動します。
（イチ、ニ、サン、ヨン、ゴ、ロク、ナナ、ハチ、キウ、ジュウ、ジュウイチ、ジュウニ、ジュウサン、ジュウヨン、ジュウゴ）
- 「正常」および「電波異常」は、「○番」のあとに約30秒間の無音状態が継続します。
- 「電波異常」で、「0番」鳴動中は、登録しているグループの警報器（親器）との電波状態を、「002番」鳴動中は、ペアの火災中継アダプタとの電波状態を表示します。

 注意	通信テストにおけるテスト結果報知の優先順位 優先順位の高い状態を優先的にお知らせします。
	高い 優先順位 ↓ 低い ①警報器（親器）に未登録 ②電池切れ ③通信処理中など ④電波異常 ⑤正常

対処方法

対処No.	対処方法
1	<p>電池電圧が低下して電池の寿命が近づいています。 販売店にご相談のうえ、すみやかに新しい火災中継アダプタまたは電池と交換してください。</p> <p>●機器を交換する場合は、ペア品の2台とも交換する必要があります。</p>
2	<p>登録した警報器（親器）との通信ができないか、弱電波です。 表示灯色にあわせた以下の処置後、再度テストをしてください。</p> <p>[赤]：電波が届かないか、受けられません。 1) 以下を確認します。 ・警報器（親器）が監視状態であること ・周波数設定用スイッチの3, 4スイッチの設定チャンネルが警報器（親器）と同じであること 2) 周りの家電製品やOA機器を移動させます。 3) 再度テストしてください。 改善しない場合は、周波数（無線チャンネル）の設定を変更してください。</p> <p>[橙]：周りに運動に支障をきたす電波が存在しています。 1) しばらくしてから再度テストをしてください。 頻繁に起きる場合は、周波数（無線チャンネル）の設定を変更してください。</p> <p>[緑]：電波が弱く運動しにくい状態です。 1) 本機の取付位置を移動してください。 2) 再度テストしてください。</p> <p>●周波数（無線チャンネル）の設定を変更するときは、同一グループすべての機器についても、同じ設定に変更する必要があります。 なお、設定には条件がありますので、黄色紙【登録・設置説明書】を参照してください。</p>
3	<p>ペア品の火災中継アダプタとの通信ができないか、弱電波です。 表示灯の色を確認して適切に対処してください。</p> <p>[赤]：電波が届かないか、受けられません。 1) 以下を確認します。 ・ペア品の火災中継アダプタが監視状態であること ・周波数設定用スイッチの1, 2スイッチがペア品と同じであること 2) 周りの家電製品やOA機器を移動させます。 3) 再度テストしてください。 改善しない場合は、周波数設定用スイッチの1, 2スイッチの設定を変更してください。</p> <p>[橙]：周りに運動に支障をきたす電波が存在しています。 1) しばらくしてから再度テストをしてください。 頻繁に起きる場合は、周波数設定用スイッチの1, 2スイッチの設定を変更してください。</p> <p>[緑]：電波が弱く運動しにくい状態です。 1) 本機の取付位置を移動させます。 2) 再度テストしてください。</p> <p>●周波数設定用スイッチの1, 2スイッチの設定を変更するときは、ペア品の火災中継アダプタも、同じ設定に変更する必要があります。 詳細は、黄色紙【登録・設置説明書】を参照してください。</p>
4	<p>警報器（親器）に未登録の状態です。 警報器（親器）に登録してください。 ●詳細は、黄色紙【登録・設置説明書】を参照してください。</p>
5	<p>内部処理中のため、テストが起動できませんでした。 しばらくしてから再度テストをしてください。</p>
6	<p>電池がはずれているか、故障している可能性があります。 電池コネクタがはずれていたり、ゆるんでいる場合はコネクタを奥まで確実に差し込んでください。コネクタ部に問題がない場合は、販売店または「お客様ご相談窓口」にご相談のうえ、すみやかに新しい火災中継アダプタに交換してください。</p> <p>●機器を交換する場合は、ペア品の2台とも交換する必要があります。</p>

② グループ内連動テスト

本機ペア品の各々について、1台ずつ以下の要領でテストしてください。

1. 「テスト」ボタンを長押しする。〔2秒以上〕

操作音が「ピピ」と鳴り、表示灯〔緑〕が点灯します。そのまま約2秒以上ボタンを押し続けると、「ピ」と鳴り、下記の動作をします。



<警報器（親器）に登録済みの場合>

	警報音（音声）	表示灯
テスト操作した火災中継アダプタ	無音	[赤] 連続点滅（約15秒間）
テスト操作した火災中継アダプタと同一グループの警報器	ピー ヒュー ヒュー ○番火事です（3回繰り返し）	[橙] 連続点滅（警報音鳴動中）

- 警報器は、約4～20秒後※に連動して鳴動します。
- 電池切れ警報時でもグループ内連動の確認ができます。
- 電池異常警報時でもグループ内連動の確認ができる場合があります。
- 「○番」には、テストした機器の登録番号1～15が鳴動します。
※周囲の環境によっては延びる場合があります。

<警報器（親器）に未登録の場合>

警報音（音声）	表示灯
99、ピピピピ	消灯

- 警報器（親器）に未登録の場合は、グループ内連動テストができません。
黄色紙【登録・設置説明書】の「3登録と消去」を参照のうえ、登録作業をしてください。

<通信処理中などの場合>

警報音（音声）	表示灯
ピピピピ	消灯

- 内部処理中のため、テストが起動できませんでした。
しばらくしてから再度テストをしてください。

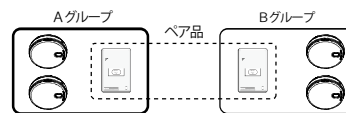
グループ内連動テストは、同一グループの連動機能のみを確認しています。このテストではグループ内の連動機能を確認することはできませんが、機器の状態やペアとなっている火災中継アダプタとの通信を確認することはできません。必ず定期的に通信テスト、および警報器による連動テストを行ってください。

グループ内連動テストは、テスト操作した火災中継アダプタが属しているグループの警報器を連動させますが、火災中継アダプタを2ペア以上使用した場合は、複数グループの警報器が連動する場合があります。

1ペアのみ使用している場合

テスト操作した火災中継アダプタと同じグループの警報器のみ連動します。

例) Aグループの火災中継アダプタをテスト操作した場合
→Aグループの警報器が連動

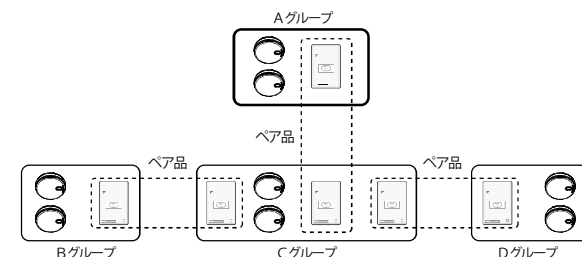


2ペア以上使用している場合

テスト操作した火災中継アダプタと同じグループ内に、他の火災中継アダプタがある場合、ペアになっている火災中継アダプタ以外のグループにある警報器が連動します。

例1) Aグループの火災中継アダプタをテスト操作した場合
→Aグループの警報器が連動

例2) Cグループ中央の火災中継アダプタをテスト操作した場合
→B, C, Dグループの警報器が連動



注意

4 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下表の対処をしてください。

下表のとおりに対処しても異常がある場合は、お買い上げの販売店に連絡するか、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

症状	原因	対処
火災中継動作をしない。	専用リチウム電池のコネクタがはずれていたり、しっかり挿入されていない状態ではありませんか？	コネクタを奥まで差し込んでください。
	専用リチウム電池の寿命ではありませんか？ 【電池切れ警報】が鳴っていませんか？	新しい火災中継アダプタ（ペア品）の2台または電池と交換してください。
	ペアの火災中継アダプタおよび登録した警報器（親器）と連動できる状態ですか？	通信テストをしてください。 ⇒ 3.2 機能を確認する の ① 通信テスト 参照
	火災中継アダプタが正しく設定され設置されていますか？	【登録・設置説明書】に従って、再度確認してください。
グループ内連動テストで複数のグループの警報器が連動する。	テスト操作した火災中継アダプタと同じグループ内に別の火災中継アダプタが存在していませんか？	同じグループ内に複数の火災中継アダプタが登録されている場合は、複数のグループの警報器が連動します。そのままご使用ください。
警報器を連動テストしてもすべての警報器が連動しない。	連動させるグループの警報器（親器）に、ペアの火災中継アダプタを登録していますか？	黄色紙【登録・設置説明書】に従って、再度確認してください。
	周波数設定用スイッチの3,4スイッチの設定が、登録した警報器（親器）の設定と異なっていませんか？	
	周波数設定用スイッチの1,2スイッチの設定が、ペアの火災中継アダプタ同士で異なっていませんか？	
	周波数設定用スイッチの3,4スイッチの設定を、グループごとに異なる設定に変更せずに使用していませんか？	
	操作グループ以外の火災中継アダプタが「ビビビ」と鳴動し、警報器が連動しなかった場合は、グループ内警報器との周波数設定が制約事項と異なっていませんか？	
2ペア以上の火災中継アダプタを使用していて、各ペアごとに周波数設定用スイッチの1,2スイッチの設定を異なる設定に変更せずに使用していたり、グループ間の距離が5m以内ではありませんか？	2ペア以上の火災中継アダプタでの運用は、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。	
約1分間隔で「ビボッ」と鳴り、表示灯【赤】が(1+4)回点滅する。	【電池切れ警報】 電池電圧が低下して電池の寿命が近づいています。	新しい火災中継アダプタ（ペア品）の2台または電池と交換してください。
約10秒間隔で表示灯【赤】が1回点滅する。	【電池切れ警報】の警報音を停止中です。	
約1分間隔で「ピッピ」と鳴り、表示灯【橙】が2回点滅する。	【電波異常警報】 電波異常により通信が正常にできません。	通信テストをしてください。 表示灯が【赤】【橙】【緑】のいずれかに点灯しますので、状態にあわせて対処してください。 ⇒ 3.2 機能を確認する の ② 対処方法 対処No 2 、 3 参照
約10秒間隔で表示灯【橙】が2回点滅する。	【電波異常警報】の警報音を停止中です。	
表示灯【橙】が連続点滅している。	火災中継動作中です。 (火災感知元グループの警報動作)	火災でない場合は、約30分後にもとの状態に自動で復旧します。
表示灯【赤】が連続点滅している。	火災中継動作中です。 (中継先グループの警報動作)	
警報器の火災警報を停止することができない。	本機には火災警報を停止する機能はありません。	感知元を確認し、火災でない場合は、感知元警報器の『警報停止/テスト』ボタンを押してください。
テストしても何も音が鳴らない。	専用リチウム電池のコネクタがはずれていたり、奥まで差し込まれていない状態ではありませんか？	コネクタを奥まで差し込んでください。
	専用リチウム電池の寿命ではありませんか？ 【電池切れ警報】が鳴っていませんか？	新しい火災中継アダプタ（ペア品）の2台または電池を交換してください。
	上記以外の場合は故障しています。	販売店または「お客様相談窓口」にご相談ください。
テストすると「ビビビ」と鳴動する。	内部処理中のため、テストが起動できませんでした。	しばらくしてから再度テストをしてください。
テストすると「99～」と鳴動する。	警報器（親器）に未登録です。	警報器（親器）に登録をしてからご使用ください。 ⇒黄色紙【登録・設置説明書】の 3 登録と消去 参照

5 仕様

名称	無線式連動型住宅用火災中継アダプタ	
型名	FSOJ002A-B	
認証番号	001-A14330	
定格	DC3V 400mA	
電源	専用リチウム電池：CR17450E-N-2-CN1 × 2組（公称電圧：DC3V）	
電池寿命	約10年 ^{*1}	
使用周波数 (周波数設定用 スイッチで設定)	警報器 ↓ 火災中継アダプタ	CH1:426.7125MHz（出荷時設定） CH2:426.7375MHz CH3:426.8125MHz CH4:426.8375MHz
	火災中継アダプタ（ペア品）間	CH1:426.4125MHz（出荷時設定） CH2:426.4375MHz CH3:426.5125MHz CH4:426.5375MHz
送信出力	10mW	
電波到達距離	約100m ^{*2} （・警報器 ↔ 火災中継アダプタ間） （・火災中継アダプタ（ペア品）間）	
連動可能警報器	無線式連動型住宅用火災警報器 FSKJ226/FSLJ016 シリーズ FSKJ223/FSLJ013 シリーズ FSKJ218(A)/FSLJ008(A) シリーズ など	
連動可能警報器数	最大30台 (本品1ペア使用時)	
最大連動可能 ^{*3} 警報器数	58台 (本ペア品を3ペア使用し、4グループを連動させた場合)	
外形寸法 (取付ベース含む)	H150mm × W100mm × D29.5mm	
質量 (電池含む)	約265g	
主材	難燃性ABS樹脂	
色	ナチュラルホワイト	
使用温度範囲	0～40℃（結露しないこと）	
取付場所	壁面	

※1：電池寿命は、使用温度や電波環境などの外部環境や使用条件によって短くなることがあります。

※2：電波到達距離は、障害物のない場所での水平見通し距離が約100mです。使用場所の環境や住宅の構造などにより電波到達距離は短くなります。

※3：周波数（無線チャンネル）設定や連動グループ構成に条件があります。詳細については、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

6 廃棄について

- 本機や電池を廃棄する場合は、分解したり加圧変形させず、市町村により定められたルールに従って廃棄してください。（付属の電池は水銀を含みません。）
- 電池を廃棄する場合は、電池の保護フィルムをはがさず、コネクタ部分に絶縁性のあるテープなどを巻いてください。また、金属片など導電性のものと一緒に廃棄しないでください。絶縁状態にせずに廃棄すると電池がショートし、発火、破裂の原因となります。